

対馬産コキマダラセセリ（チョウ目セセリチョウ科）の標本

長田庸平¹・千葉秀幸²

On a specimen of *Ochlodes venatus* (Bremer et Grey) (Lepidoptera, HesperIIDae) collected in Tsushima Island, Japan

Yohei OSADA¹ and Hideyuki CHIBA²

Abstract: During examination of specimens deposited in Osaka Museum of Natural History, a specimen of *Ochlodes venatus* (Bremer et Grey) (Lepidoptera, HesperIIDae) from Tsushima Island was found and confirmed its reliability. This species is known to distribute in Hokkaido and Honshu in Japan and has not been recorded from Tsushima Island with concrete collecting data until now. With this record, western distribution limit of the species in Japan is updated.

抄録: 筆者らは大阪市立自然史博物館の収蔵標本の中から、対馬で採集されたコキマダラセセリの標本を発見し、その信頼性を確認した。本種はこれまで国内では北海道と本州から知られており、対馬ではこれまで正式な記録はなかった。この記録により、本種の国内での分布西限が更新された。

Key words: Distribution; Korean peninsula; Record; Skipper butterfly

はじめに

チョウ目セセリチョウ科のコキマダラセセリ *Ochlodes venatus* (Bremer et Grey, 1852) は国内では北海道と本州に分布する（福田ほか, 1984; 白水, 2006; 千葉, 2007; 猪又ほか, 2013）。

筆者らは大阪市立自然史博物館の収蔵標本で、対馬産コキマダラセセリの標本を確認したので報告する。そして、本種の対馬での分布について、生物地理学的に考察する。

データ

コキマダラセセリ *Ochlodes venatus venatus* (Bremer et Grey, 1852)

1♂, Ina, Kamiagata-cho, Tsushima-shi, Nagasaki Pref., 25. VII. 1970, Yoshiaki Nishikawa leg. (Identification by Akito Kawazoé) (Fig. 1)

日浦（1976）が示した対馬の蝶の分布表には本種が含まれているが、ここには具体的なデータがなく、その後の図鑑（福田ほか, 1984; 白水, 2006; 千葉, 2007など）や日本昆虫目録第7巻（猪又ほか, 2013）でも本種の分布域に対馬は入っていない。千葉・築山（1996）が図示したアジアにおける *Ochlodes* 属の分布図には、コキマダラセセリが対馬に分布していることが示されているが、これは対馬での分布に関して詳細な検討がなされないままで発表されたものである。

※大阪市立自然史博物館業績第513号（2023年1月9日受理）

¹ 大阪市立自然史博物館 〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23

Osaka Museum of Natural History, 1-23 Nagai-Park, Higashisumiyoshi-ku, Osaka 546-0034, Japan

² Bishop Museum, 1525 Bernice Street, Honolulu, Hawaii 96817-2704, USA

Corresponding author: Y. Osada (e-mail: osada@omnh.jp)



Fig. 1. A specimen of *Ochlodes venatus venatus* from Tsushima Island (left) and data label (right).

この標本についてふたつの点から考察する。ひとつは標本ラベルの真偽である。本標本が対馬産コキマダラセセリの唯一の報告であるため、そのラベルに疑義が生じるのは止むを得ないであろう。そこで、筆者らは採集者である西川喜朗氏に直接確認したところ、この標本は氏がクモ類調査で対馬に行った時（1970年7月25日）の採集品で、採集から程なくして故川副昭人氏に同定を依頼したという明確な返事を得ることができた。

もうひとつは、本種の対馬における希少性についてである。日浦（1976）は、本種を韓国、対馬、日本の3地域に分布するパターン（KTJ）に含めた。このパターンは対馬に分布するチョウに最も多いタイプであり、対馬に分布せず日本には分布する種より多い。KTJパターンはそれ以外の地域の分布により5つの型に分けられている。コキマダラセセリは「ヨーロッパからユーラシア大陸にひろく分布する」シベリア型に含められているが、これは近似種であるニセコキマダラセセリ *Ochlodes similis* (Leech, 1893) と本種を混同しているため、実際には本種は周日本海と中国東北部～東南部のみに分布しており、5つの型のどれにもぴったりとは当てはまらない。コキマダラセセリの分布のパターンにもっとも近いのは中華型に含まれるホシチャバネセセリ *Aeromachus inachus* (Menetries, 1859) で、この草原性のセセリチョウが対馬に分布することから、同じく草原性のコキマダラセセリの分布も否定はできない。一方、対馬には分布せず、日本と朝鮮半島に分布する草原性のセセリチョウとして5種（ギンイチモンジセセリ *Leptalina unicolor* (Bremer et Grey, 1852)、スジグロチャバネセセリ *Thymelicus leoninus* (Butler, 1878)、ヘリグロチャバネセセリ *Thymelicus sylvaticus* (Bremer, 1861)、ヒメキマダラセセリ *Ochlodes ochraceus* (Bremer, 1861)、ミヤマチャバネセセリ *Pelopidas jansonis* (Butler, 1878) があげられている。しかし、これらは九州、四国にも分布することからコキマダラセセリ、ホシチャバネセセリと同一に議論することはできないだろう。いずれにしろ、日浦（1976）が指摘しているように、対馬における北方草原の衰退・消失がこれらのセセリチョウの生息を困難にしており、コキマダラセセリが狭い生息環境を失い現在はいなくなったと考える。

日浦勇氏は「対馬の生物」の論文を執筆した1976年当時は大阪市立自然史博物館に勤務しており、当博物館に保管されている上記の標本を確認して論文中の蝶の分布表に本種を含めた可能性がある。しかし、彼は論文中に具体的なデータを示さず、その後は対馬で本種の追加記録が得られることがなかったため、今現在も対馬にはコキマダラセセリは分布していないことになっているのであろう。いずれにしても、本報告がデータを伴う対馬における本種の正式な分布記録になると思われる。これまで、本種の国内の分布西限は山口県岩国市とされてきたが（白水, 2006）、対馬での記録により分布西限が更新された。

本種は日本だけでなく朝鮮半島にも分布していることから（金, 2010）、1970年代までは対馬に生息していた可能性がある。

謝辞

本標本の採集者である西川喜朗氏からは、採集当時に関する重要な情報をいただいた。心よりお礼申し上げます。

引用文献

- 千葉秀幸 2007. セセリチョウ科. 新訂原色昆虫大圖鑑第 I 卷 (蝶・蛾篇) (矢田脩監修). 北隆館, 東京, pp.130-144.
- 千葉秀幸・築山 洋 1996. ユーラシア産コキマダラセセリ属の再検討. *Butterflies* (14): 3-16.
- 福田晴夫・浜 栄一・葛谷 健・高橋 昭・高橋真弓・田中 蕃・田中 洋・若林守男・渡辺康之 1984. 原色日本蝶類生態図鑑 (IV). 保育社, 大阪, 373pp.
- 日浦 勇 1976. 対馬蝶相の生物学的考察. 対馬の生物 (長崎県生物学会編). 長崎県生物学会, 長崎, pp.429-440.
- 猪又敏男・植村好延・矢後勝也・神保宇嗣・上田恭一郎 2013. 日本昆虫目録第7巻鱗翅目第1号 (セセリチョウ上科—アゲハチョウ上科). 日本昆虫目録編集委員会編. 日本昆虫学会, 東京, pp. xxv+119.
- 金 容植 2010. 原色韓国蝶類図鑑 (第3版). 教學社, ソウル, 307pp.
- 白水 隆 2006. 日本産蝶類標準図鑑. 学習研究社, 東京, 336pp.

